

知床の窓から見えるもの

羅臼の希少な動物のご紹介！！

皆さん、こんにちは！

町立診療所の時から働いている放射線技師です。羅臼での勤務歴は 13 年以上になり、すっかり羅臼町民になりました。

この前、羅臼に長く住んでいて、はじめてある動物をみかけました。そこで今回は、羅臼の希少な動物について少し紹介させて頂ければと思います。



知床峠を運転中に遭遇した
ヒグマ

羅臼といえば、ヒグマが思い浮かぶますが、普通に生活していてもなかなか遭遇しません。私も年に 5 回位しか見ないと思います。こちらの写真は知床峠を運転していた時に遭遇したヒグマ(反射して見えづらくてすみません)です。車にも動じず目の前を堂々と歩いていました。車の中だから良かったですが、これが歩いている時に会ったらと思うとゾッとしてしまいます。なるべく歩いている時は出会いたくないですね。



家の前の電柱にとまっている
シマフクロウ

次に紹介する動物はシマフクロウです。道東には 100 羽くらいしか生息していないとされている絶滅危惧種で、全長は 70cm、翼を広げると約 180cm にもなる世界最大級のフクロウです。橋の欄干などにとまっている姿を見たことがあります。シマフクロウを見かけるのは年に 2,3 回くらいです。この写真は家の前にいた所、大きな鳴き声が聞こえたので真上を向くと、電柱にシマフクロウがとまっていたので、慌ててスマホで撮影したブレブレの写真です。(見づらくてすみません) 私が毎日入る熊の湯の周辺では、「ホー、ホー」というシマフクロウの独特な鳴き声が時々聞こえてきますが、「こんな街中でも見れるんだ」と驚きました。夜行性なので本当に見ることができたらラッキーだと思います。



牧草地にたたずむ
エゾユキウサギ

最後に紹介する動物は、エゾユキウサギという日本では北海道にしか生息していないウサギです。長年羅臼に住んでいますが、この前はじめてエゾユキウサギを見てビックリしました。調べてみると、近年では数百頭ほどしか野生に生息していなく、体長 60cm ほどで非常に臆病で、夏は茶色い毛になり、冬は白い毛になるそうです。今回は一度に 2 匹(夫婦?)も見ることができて、本当に運が良かったと思います。今度は冬にエゾユキウサギの真っ白な素敵な姿を見たいものです。